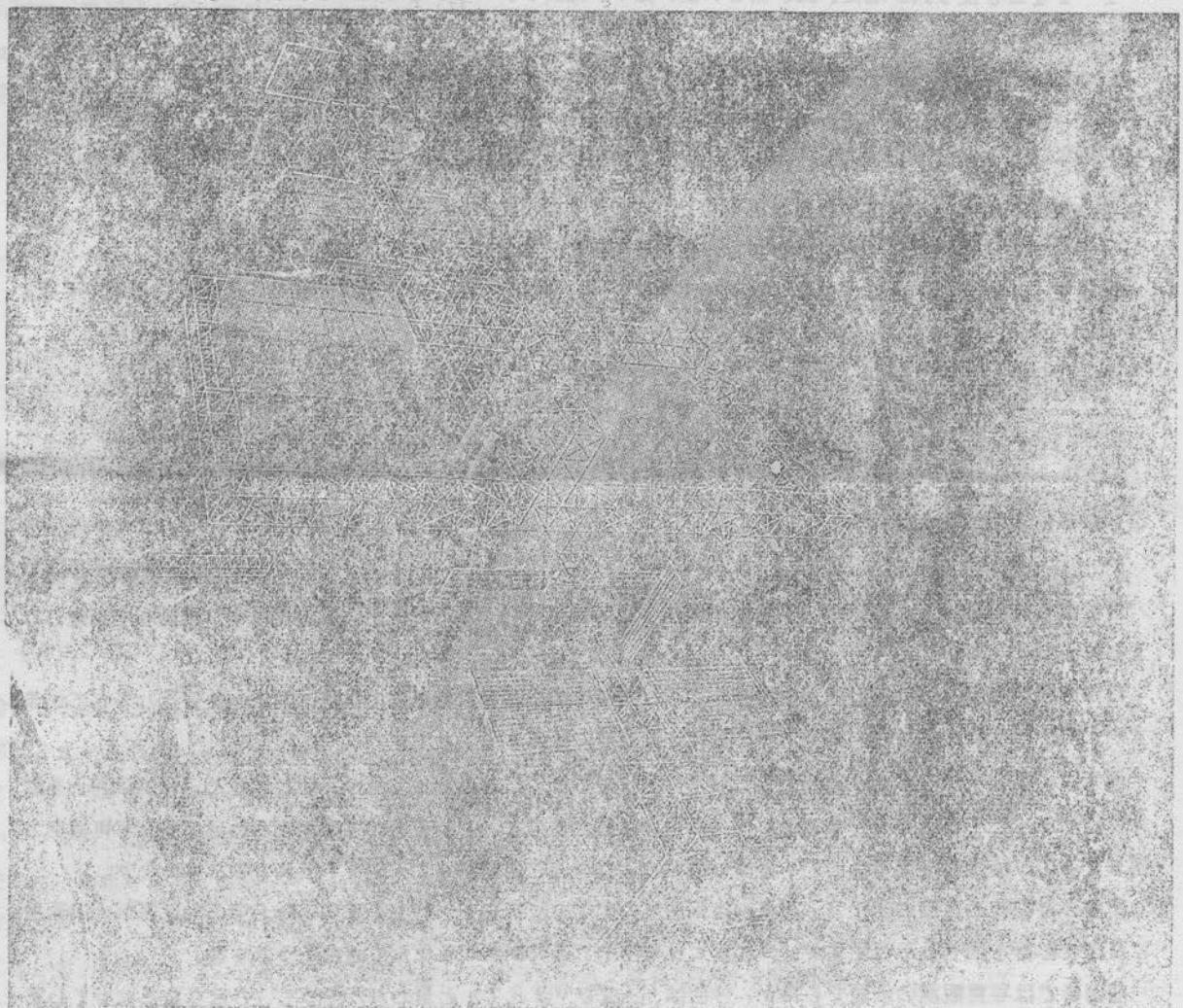


星 肩

新年号



新型 I・I のその後
GS-1 観測に大活躍中、そして...
平成元年 1月吉日 鮎島 敬昭

1. 新型 I・I のその後

昨年、天文台に導入された新型の I・I は、旧型と比べて格段に改良されています。

今のところ（予算の関係で）VTR カメラ専用の 2:1 のリレーレンズしか持っていないので、写真撮影には利用していませんが、VTR の映像として比較する限りでは解像度が高く視野も平坦で、非常に見やすい映像になったといえます。

昨年は、「だから TKU」の 30 秒スポットにこの I・I で撮った星の映像や火星のビデオが使われました。

「We Love Kyusyu それは、九州にはじまった」でも取材を受けるなど常に話題になっていたようです。もちろん、夏の清和での活躍はご存じですよね？

12 月には、第一回の使い方講習会も実施しました。双眼鏡でみるよりも多くの星が、手軽に VTR で見えるのですから使いたくなるのは当然です。私の出番をとられてしまうかも知れませんが、そんなことより有効に使ってくれる人を一人でも増やしたいと思っています、どんどん要望を出してください。

I・I をこき使う人が増え、又、新しい使い方や、撮影テクニックを考えたりするのは、とても楽しいことだと思います。

いつだったか、星の家制作のビデオを見せて頂いたことがあります。米軍放出品の I・I を使っているとかで、ズームレンズをうまく使っているのに感心しました。星座の星の並びを TV 画面で見ていると、それが、グーンとズームアップしていく、最後に、直焦点撮影した星雲星団の映像が出て来ると、「わかりやすい！」と言う声が、見ている人達から思わずもれて來るのですから、迫力満点です。

天文台でも、わいわい・がやがや楽しみながら天体ビデオシリーズを制作しましょう。

プロデューサー、ディレクター、シナリオライター、カメラマン、レポーター等々、スタッフ募集中です。



2. GS-1 観測に大活躍中

きく乙号(技術試験衛星Ⅱ型)

今年度も、GS-1 の観測が宇宙開発事業団・GSW 事務局 (AES) からの依頼により継続して実施されました。

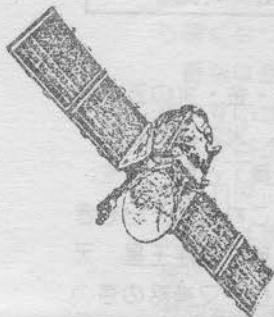
GS の観測も当初の軌道監視、位置測定から、衛星そのものの自転運動の監視、解析へと変化してきていますが、今やっているのは発光間隔とその変化を写真等に撮影することです。

例えば、ピッ・ピッ・ピッと発光していたのがビビビビビビと連続して光ったかと思うと、今度は調子を変えてピッ・ピ・ピッと発光するといった具合に見えるのを、そのままに映像化するわけです。写真撮影で捕まえるのが後処理が簡単なので一番良いのでしょうか、この観測を I・I + VTR でやっています。

衛星の自転軸の方向の変化と、衛星の自転速度の変化を監視して、地上 1500 Km 上空の大気等が人工衛星に及ぼす影響を調べるそうですが、「ピッピッピッ」でそれがわかるなんて面白そうですね。

前回までは写真観測の依頼でしたが、今回は、「ぜひ VTR で」と言わされたそうで、さぼれなくなってしま

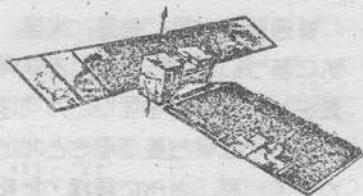
いました。今回（1月15日～22日）も天候不良でしたが、16日の明け方と21日夕方の2回のパスを撮影することに成功しました。特に22日には、月明りの中、薄雲もあって双眼鏡での発見が困難な状況でも、I・Iでの撮影はとても簡単で、連続して追跡できました。スタッフの協力体制で観測技術も向上しつつあるようです。（ご協力有難うございました） . . . これで安心して筑波に行けます。



ゆり2号(放送衛星2号)



ひまわり3号(気象衛星3号)



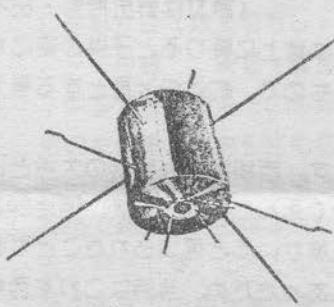
ERS-1(地球資源衛星1号)

3. そして . . .

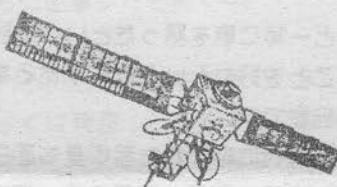
以前、星屑誌上でも報告しましたが、I・Iの感度はスペクトルの赤の方にかなり伸びているようで、900nm位まであります。スペクトル型M型の星など、8等から9等級のものが4等程度の明るさに写りますから、超新星騒ぎをおこしてしまう事があった訳です。

今回の人工衛星観測時にも、星図と比較しようとするが、写真星図のように青に感度の高いものとの比較はなかなか大変です。

今後は、I・Iの感度にフィルターを組み合わせたりして、何か面白い観測が出来ないか考えてみると良いでしょう。アイデアをお待ちしています。



うめ・うめ2号(電離層観測衛星)



INTELSAT-V(国際通信衛星)

4. 今年も . . .

今年も新製品ラッシュがありそうです。

富田さんからのニュースでは、ピクセンの新型架台は30万円強で月産5台程度、既に受注が数ヶ月分たまっているそうです。コードレスのすっきりした形で90S+ α 位のレベルか？（160型には同架重量が及ばない）また、高橋制作所も新型架台の発売を計画中とか。

そして、両軸モーター用のユニバーサル・コントローラーが好評だそうです。EM-100まで使えるそうですが、天文台でもE-200用に購入しては如何でしょうか、高橋のコントローラーはどうも不調ですから。

ことしも、いろいろなハイテク製品のラッシュにあって、益々お金のかかる趣味になってしまふのでしょうか？どこかに、スポンサーになってくれる人はいませんかねー . . .

文系天文学 3. 一星の和名・惑星

渡辺 知史

普通言う水星、金星、火星、木星、土星の名は五行における木・火・土・金・水の五つの気に基づいた名称です。木は育成を司り、方位では東、季節では春を表し、火は変化と南・夏を、土は生出を司り、方向は中央を表す四季の主です。金はあきて（法律）と西・秋を、そして水は保ち養う働きと北・冬を表します。以上五惑星を五曜といい、これに月・日を合わせて七曜、さらに羅喉・計都と言う幻の惑星を加えて九曜と呼びます。残りの海王星、天王星、冥王星の三惑星は英名のNeptune、Uranus、Plutoが順にギリシア・ローマ神話の海の神、天を司る神、冥界の神の名であるのでこれを直訳したものでしょう。この三惑星については余りに暗く発見されたのも最近のことですから古い和名と言うのは特にありませんが、先の五惑星はそれぞれ幾つかの呼称を持っていました。

最初は昨年最接近となった火星について。火星は古来漢名の熒惑で呼ばれ、人を惑わせ世を惑わす凶星とされてきました。またこれと共に古い和名としてはなつひぼし（夏日星、夏火星）があり、この名で寺島良安の「和漢三才図会」に次の様な珍しい話が載っています。

河内の国道明寺は推古天皇、聖德太子があ闇らきになった寺です。土師造八島に命じて寺を造り、土師の里に五部大乗經を埋めさせました。するとその上にむくろ樹がはえ、人々はその実をとって数珠をつくりました。

八島は声を大にして時世粧を謡うと、火星が彼の歌に感動して共に唄いました。

（八島） 我宿のいらかにかたる声はたそ、たしがになのれよもの草とも

（星の返歌） あまの原南に住める夏日星、豊聰にとへよもの草とも（豊聰は聖德太子の号）

（原文は野房抱影・日本之星）

この火星が八島と一緒に歌を謡ったという伝説は、火星は地上に降りると子供の姿になり、謡歌を作り謡うことを好むという故事がある事からきたもので、前述の凶星とする考えよりもずっと暖かい伝説です。

また、明治10~20年代に呼ばれた西郷星も面白い名前です。西郷隆盛は叛徒の大将として死んだにもかかわらず広く敬愛されており、彼が西南の役で死んだしばらく後、明治24年に火星が最接近となって空に輝いたため、光輝く火星の中に彼がいると信じられたことからきた呼称です。付記すると、その邊は土星が火星のすぐ側にあったため、当時はこれを西郷星と共に桐野星と呼んでいたそうです。

土星は他の四惑星に比べ暗く、動きも五惑星の中で最も緩慢で比較的目立たない星である事が、広く大衆に知られた星ではないのか殊更ながら漢名の鎮星もしくは填星の呼称と先の桐野星の名前しか残っていないようです。

木星は天を12年で一周し、一年に天の1/12を行くので歲星と呼ばれ、陰陽道ではその動きと光の変化で國家と、臣君の運命を占っていました。和名としては、おそらく歲星からきたと思われる「としのほし」、また、宵の明星・曉の明星に対して夜中にこうこうと輝ぐところからよなかの明星・よなかの明神と言う名前も残っています。

次に水星について。この星は太陽に近すぎて見る機会の少ない惑星ですので会員の方でも見たことがない方が多數いらっしゃると思います。そのような事情からこの星は昔は学者に

しを知られてあらず、従って辰星の名しか知られていません。これは「水星は日とともにす。辰その位にあり。」と言われ方角からきた名称です。蛇足ですが、水星は2月中旬頃太陽から遠くなり日の出の頃に見やすくなるのでぜひトライしてみて下さい。

最後は金星です。この星は非常に明るく、また、日没の頃か日の出の頃に輝くので目につきやすいせいが非常に沢山の名前で呼ばれています。漢名で日本でもよく言われていた名である太白の名は輝きが明るく色の白いことから呼ばれたものです。和名で最も古いものは、夕暮れ時に見えるゆふづつ（もしくはゆふつつとも書う）と明け方に見える明星です。ゆふづつ（またはゆふつつ）に当たられる漢字は、枕の草紙で見ることができる「夕づつ！」他に「長庚」や「由布都々」等の字が使われていたようです。ちなみにこのゆふづつとは日が沈んだ後に長く日の光を続ぐ事から夕続の意味でこう呼ぶのだそうです。

近世にはいると今でも聞くことのできる宵の明星・暁の明星が書われるようになります。この名は大変広い地域で長い間言われてきましたために実に多くの方言があります。例えば、明星をミヨードー、メジョ、メソと訛り、また明神、明神様と呼ぶ地方も多くあります。例えば、よいの明神・よあけの明神やくれの明神・出の明神などです。他にも暁の明星をあけぼしやあけのほしと呼んだり、くれの明星をよいぼし、ゆうぼし、くれのほし、よいとどぼしなどと呼ぶのもこの変形でしょう。

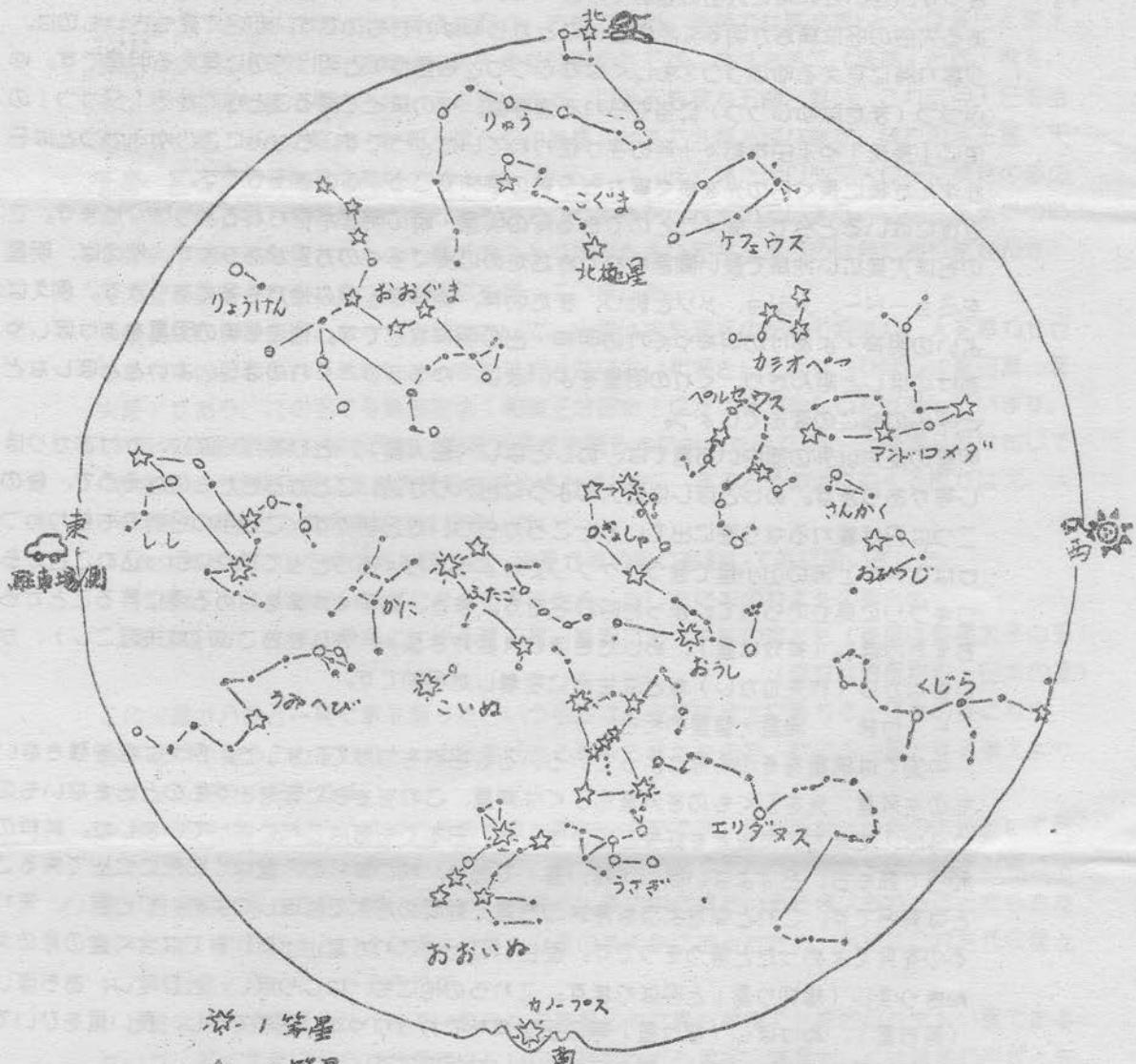
明星の変形以外の面白い方言では、ぬしとぼし（盗人星）、とひあがりぼし、かけあがりぼし等があります。ぬしとぼしは盗人のように出入りが遠いことからきたものだそうで、後の二つは日が暮れるなり空に出ているとこらついた名前です。この手の名前でもきわめつけは大井川上流の山小屋で言うコケブリでしょう。ちょろりと出てすぐに引っ込むことからコキブリに見立てられてしまった呼び名です。また、朝早く炊事を始める頃に昇ることからちやたけぼし（茶炊け星）、めしたきぼし（飯炊き星）、カシキヨコシ（炊夫起こし）、カシキナカシ（炊夫泣かし）などは生活に密着した名前です。

- 付録 流星・彗星の和名 -

中国では流星をその形態によっていろいろな名前をつけていました。例えば猿を残さないものを飛星、光を引くものを流星もしくは奔星、これをさらに音を出すものと出さないものに分け、前者を天狗後者を狂天と呼ひました。日本でも昔はこれに従っていました。純粋の和名で最も古い名はよばいほし（嬉しい星）であり、枕の草紙の「星は」の所に出て来ることは有名です。これと似たような意味の方言で静岡の吉太ではほしのよめいりと言い、流れのを見てよめったと言うそうです。面白いことにこれが富山上新川谷では全く逆の意のえんきりほし（縁切り星）と呼ばれます。これらの他にも、はしりぼし、とひぼし、あちぼし（落ち星）、ぬけぼし（抜け星）等の名は素朴でわかりやすい名前ですし、長い尾をひいて飛ぶ雛に見立てたきじほしと言うのもきれいな名前です。

彗星の名は漢名ですが、もう一つ現代まで残っている名前であるほうき星は純粋な和名です。ほうき星は元々、ははきぼしと言い「八々木侯之」と書くのが普通ですが「掃星」の字をを当てることもありました。また、ほこぼし（戈星・鉤星）の名も古く、これも枕の草紙の今度は「名恐ろしきもの」の部分に出てきます。他にもほたれぼし（穗垂れ星）・いなほし（稻星）や、あふきぼし（震星）、徳光星なども伝わっています。先の二つは'88年の3月頃のハレーのような長く尾を引いた彗星を見て、観星は4月頃のハレーのように広がった尾の彗星を見てついた名前でしょう。

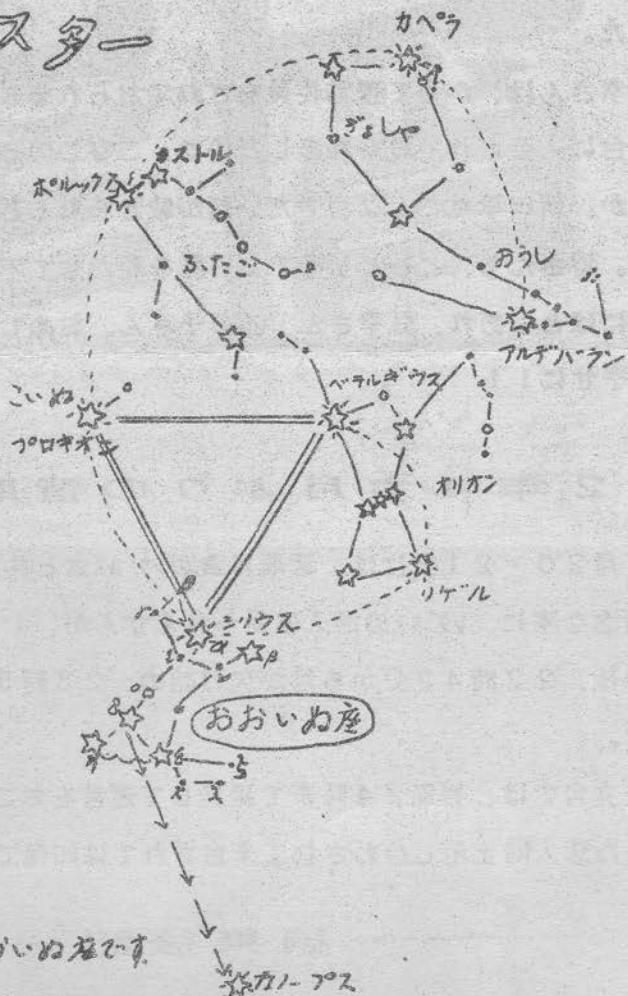
星空散歩



一等星
二等星
三等星
四等星

2月のスキー

おおいぬ座



獵師オリオンの獵犬がおおいぬ座です。

口の所には全天一明るい星シリウスが

輝いています。これを天文台の望遠鏡で見ると、やっぱり星のまじめが、明るい！
誰かか「タイヤモンド」と言ったのか傾けます。

冬は1等星が多いので星と星を結んでいくと

☆おおいぬ座シリウス—こいぬ座フロキオン—オリオン座ベテルギウス=冬の大三角形

☆オリオン座ベテルギウス—オリオン座リケル—おおいぬ座シリウス—こいぬ座フロキオン—

…ふたご座ボルクス—さしゅ座カペラ…おうし座アルデバラン…の順

になります。

又、おおいぬ座の8星と9星、合計の9ヶ所を結んでのぼっていくと、カーファスという
「これを見たら長生きできる」星が見つかります。

おめでとうございます

松原 弘幸・るみ子（旧姓・福田）さんは昨年10月29日に結婚されました。

弘幸さんは、かつて運営委員をされておられましたし、るみ子さんは、天文台に入会されておられましたので、ご存じの方も多いのではないでしょか。新年早々こんなめでたい話が載せられるとは、今年はついてますなー。皆さんも、どしどしへめでたい話を聞かせて下さい。ねーJさん！！

なにはともあれ、弘幸さん・るみ子さん、おめでとうございます。末永くお幸せに！！

2年4カ月ぶりの皆既日食

2月20・21日には、皆既日食がレグリス食と共にあります。

残念な事に、レグリスの潜入は見られませんが、18時38分に出現し、その後、22時43分から月が欠け始め、23時55分に皆既食になります。

天文台では、特別24時まで延長して運営をおこないます。ご家族、はたまた恋人同士示し合わされて来台されては如何ですか？

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願い申し上げます。

熊本県民天文台機関誌「星屑」 平成元年新年号 通巻 167号

発行所 熊本県民天文台 〒861-42 熊本県下益城郡城南町藤山

TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 〒860 熊本市古京町3番2号 熊本市博物館内

TEL 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

編集担当 甲斐 謙一